

会 議 録

会議名	平成 29 年度第 2 回八王子市博物館協議会
開催日時	平成 29 年 10 月 13 日(金)午後 6 時 30 分～8 時 30 分
開催場所	こども科学館 2 階講義室
出席者	委員 小野一之、磯部剛久、小此木正貴、柿崎博孝、数馬広二、鎌倉佐保、國方則和、黒澤美代子、佐々木幹夫、佐藤栄子 (50 音順)
	事務局 叶清こども科学館長、中野みどり郷土資料館長 (文化財課長)、森融こども科学館専門幹兼主査、小山こども科学館担当主査、尾崎光二郷土資料館担当主査、中村善行郷土資料館担当主査、河津美穂子郷土資料館担当主任、佐藤友紀郷土資料館担当主事
欠席者	
議 題	協議事項 1. 平成29年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業(4～8月期)実施状況について 2. その他
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
配付資料名	会議次第 平成29年度こども科学館事業(4～8月期)実施状況 平成29年度郷土資料館事業 (4～8月期) 実施状況

会議の内容	<p>—開会后、7月にリニューアルオープンしたこども科学館について、館内設備を叶こども科学館館長の解説で見学。</p>
	<p>見学後、会議室へ戻り議題（1）平成29年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業（4～8月期）実施状況について、小山こども科学館主査、叶こども科学館館長、佐藤郷土資料館担当主事よりそれぞれ説明。—</p>
	<p>—質疑応答—</p>
	<p>黒澤委員　こども科学館について、展示物の説明が文章だけでは若い年齢層には伝わりにくいのではないのでしょうか。施設内にはブロックなど、小学校低学年向けの展示もあるので、音声を使った説明等の導入について検討した方が良いと思います。</p>
	<p>叶館長　音声による説明も検討していましたが、展示面積の関係から、音声が他の展示の音と重なる恐れがあるため、今回のリニューアルでは音声を使用した説明は導入いたしませんでした。その代わりに、低学年の利用者については科学指導員による解説をできる限り実施していきたいと考えております。</p>
	<p>柿崎会長　科学指導員は館内に常駐していますか。</p>
	<p>叶館長　常駐はしておりません。また、土・日曜日はガイドボランティアに来ていただいておりますが、人数も多くないため、今後ガイドボランティア数も充実してまいります。</p>
	<p>磯部委員　解説員・ボランティアの充実には私も賛成です。常に館内に2～3名の説明できる人がいると良いです。また「トワイライトプラネタリウム」というイベントは良かったと思います。子どもだけではなく大人向けのイベントを実施することで、親（大人）と子ども両世代の集客につながります。一方で講演会などのイベントがないので、今後は宇宙に関する講演会を関係団体と協働して積極的に実施をしてください。</p>
	<p>叶館長　講演会については現在、開催に向けて調整中です。またイベント開催の参考として、関係団体で開催している宇宙に関するイベントに職員を積極的に派遣するなど、今後はソフト面での事業の充実を図って参ります。</p>
	<p>小野委員　館のリニューアルについて、リニューアルを実施後、施設を維持していく中で展示物の故障や事故、苦情について問題は出ていないか。また展示物を稼働させる中で、光熱水費などの維持費の問題はどう対処しているのか教えてください。</p>

会議の内容	<p>叶館長 展示物については、軽微な故障はいくつか発生しておりますが、稼働停止に至る程の大きな故障は現状では確認されていません。苦情については入館者数の増加により、子ども同士での体験展示物の取り合いが発生している等の苦情が寄せられております。この問題については今後、一回あたりの利用時間を表示するなど対策をしていきたいと思っております。最後に光熱水費についてですが、今回のリニューアルで空調の更新や電気設備の LED 化を実施したので、電気使用量はリニューアル前に比べ下がっております。まだ開館して 2 か月ですので引き続きデータの検証を進めてまいります。</p>
	<p>森主査 電気使用量につきましては、現在までの記録ではリニューアル前に比べ、減少していることが確認できました。しかし電気会社の単価が上昇しているため、料金の面では昨年度と同等の水準に留まっております。</p>
	<p>小此木委員 入館者数のデータを見るとやはりリニューアルの効果は大きいです。一方で、今回導入した展示物の耐用年数を考えると液晶テレビなどは 10 数年で更新が必要になると思われます。今後、大規模ではなくても中規模のリニューアル計画ないし方針は考えられているのか教えてください。</p>
	<p>叶館長 今年度から、今後 10 年の基本計画の策定を予定しております。また展示物の新たな活用方法についても関係団体から提案を受けているので、それらを踏まえ、より効果的な施設の更新を考えております。</p>
	<p>國方委員 これだけ魅力的な施設ですので今後の計画として、八王子市外に施設を PR していく方針等がありますか。</p>
	<p>叶館長 例年夏休み前に近隣市の小学校に館のチラシを配布しています。チラシは送付先の学校の生徒全員分に配付しており、入館者アンケートでも館について知るきっかけとして、チラシの存在を挙げている方が多いです。今後も市外への情報発信・新規開拓は進めていく予定です。</p>
	<p>佐藤委員 博物館は市民の応援・意思が反映されていないと成り立っていくのは難しいと感じます。そういった点では八王子の博物館は通常の展示に加え、レプリカによる触れる展示などを取り入れており、様々な視点で展示物に関わってもらおうとする配慮があることが強みだと思います。地方の博物館を見ると特にそう感じます。市民が何を望んでいるのか、こまめ</p>

会議の内容	<p>なアンケートの実施で常に把握することが大事だと思います。</p>
	<p>数馬委員 宇宙ステーション内の生活について体験できるゲームは良いと思います。特に食べ物・食育に関する項目が取り入れられていた点が良い。今後、本展示についてソフトの入れ替えは考えているのか。また宇宙と八王子の関係や、宇宙関係団体と八王子市のつながりについて、市民がわかるような説明があれば良いと思います。最後に施設の安全対策について、子どもたちが体験中にケガをした場合に応急手当をする設備の有無について教えてください。</p>
	<p>叶館長 同じソフトのままではいずれ飽きられてしまうので、本物の宇宙ステーションで進行中のミッションに合わせた内容を取り入れるなど、ソフトのバージョンアップは今後検討していきます。宇宙と八王子については「宇宙の学校」事業の実施状況や資料の公開、その他宇宙関連事業を実施し、市民に向けて宇宙と八王子の関わりを PR していければと考えております。安全対策については、リニューアル前には子どもが館内で転んだ際に、展示物の突起部にぶつかる事案がありましたので、リニューアル後はできるだけ突起物を置かないような工夫をしております。また館内には授乳室があり、そこに簡易な医薬品は常備しておりますが、そこで対応できないような大きなけがの場合は救急車を呼ぶようにしています。また近隣には大横保健福祉センターもありますので、連携しながら安全対策に努めております。そして館内に限らず館外での交通安全教育も含めて安全対策も併せて考えております。</p>
	<p>鎌倉副会長 せっかく良い施設ができたので、市内だけでなく周辺自治体に住む人や都心へ通勤する人々に向けて情報発信をした方が良いと思います。今は盛況であつてもいずれ落ち着いてくると思われますので、そうしたエリアの人々の来館を促すために、駅前など人目につきやすいところでの PR が今後は必要かと思ひます。</p>
	<p>叶館長 広報やホームページだけでは見る人が限られますので、各鉄道会社の情報誌への掲載など、多方面への PR を検討いたします。</p> <p>黒澤委員 郷土資料館ののぼり旗のアイデアは良いと思いますが、設</p>

会議の内容	置場所については、どのあたりを考えていますか。
	河津主任 現在は資料館入口の道路に面した場所に2～3本、常時設置しております。来館者アンケートにも、のぼり旗を見て入ったと回答した方もおり、ある程度の効果は認められております。また道路に面した場所に設置しておりますので、転倒防止対策も併せて実施しております。
	黒澤委員 資料館に設置するだけでは資料館の前を通る人にしか周知できないので、例えば本庁舎や事務所など他の市施設への設置も検討してみてはどうでしょうか。
	中野館長 現状では他の市施設にのぼり旗を設置するのは管理上難しいですが、現在、富士森公園で開催中の全国都市緑化フェアの八王子観光コンベンション協会のブースにて、資料館のチラシを配布しております。富士森公園は資料館に近い場所にあるため、会場に行った帰りに資料館にも立ち寄る方も多いです。今後も効果的な周知方法を検討していきます。
	柿崎会長 確かに横断幕やのぼり旗は、目立ちますので良いPRになると思います。
	磯部委員 横断幕やのぼり旗も良いのですが、更なるPRを順次考えていく必要もあると思います。効果的なPRとして有効なのはこども科学館のようにリニューアルすることですが、前回も発言した資料館のトイレのリニューアルや、新しい博物館について、こちらを最優先に市が考えていただきたいです。質の高い学芸員がいても館自体が古ければ、より一層の入館者増は見込めないと思います。また、現在はガイドボランティアが常設展の解説をしていますが、学芸員によるギャラリートークを増やし、それを集客につなげるべきです。
	中野館長 新しい博物館については、現在、検討会および市役所内部での調整を行っているところでございます。郷土資料館も今年で50年ですので、新しい博物館の一刻も早い完成を目指して引き続き検討を進めて参ります。
	磯部委員 昨年、一度だけ検討会を傍聴させていただきましたが、それ以降、どのように話が進んでいるのか教えてください。
	中野館長 検討会については昨年度から今年度にかけて、新しい博物館における基本構想・基本計画の策定に取り組んでいるところでございます。また用地全体につきましては市長部局にて学識経験者を交えて検討を続けております。

会議の内容

- 佐藤主事　　ギャラリートークにつきましては、特別展や企画展の開催期間中に実施しており、開催については広報やホームページで周知しております。
- 佐藤委員　　郷土資料館における、市外の地域への周知方法については、ホームページでの周知以外にありますか。
- 中野課長　　八王子には大学が多いので、資料館から大学への講師派遣の際に資料館のPRを実施しております。学生は市内だけでなく、近隣市町村在住の学生も多いので、今後も大学と連携して資料館の活動をより広くPRしていきます。
- 数馬委員　　資料館と大学との連携については私も非常に重要視しています。今のお話の他に実施している取り組みはありますか。
- 中野課長　　大学へのPRについては講師派遣に加えて資料館の特別展等のチラシやポスターを掲示・送付させていただいております。
- 数馬委員　　現状ではそういった取り組みが、大学内ではあまり知られていないと感じますので、新しい連携手法の模索が必要だと思います。
- 佐藤委員　　インターネットは情報拡散の力がとても強いです。インターネットであればあまり予算をかけずに効果的なPRができると思います。
- 中野課長　　八王子市のホームページには資料館のホームページがございますので、資料館の事業については随時更新しております。今後もインターネットを活用し、幅広い地域へのPRを行って参ります。
- 小此木委員　資料館の特別展や企画展については、毎回、各新聞の多摩版で取り上げられています。そういった取り組みは多摩地域の人々に周知する方法としては非常に効果的です。ぜひこれからもプレスリリースをはじめとするメディアへの情報提供を続けてください。
- 中野課長　　新聞社へのプレスリリースを毎回実施しており、時期が合えば市長の定例記者会見でも実施しております。
- 数馬委員　　新聞が効果的である一方で、新聞を購読している大学生は少ないので、やはり別の形でPRする方法が必要になると思います。
- 中野課長　　数馬委員のご指摘のとおりだと思います。これからも大学の講座など、PRできる機会を逃さずに学生へのPRを続けて参ります。

会議の内容

- 尾崎主査 過去には小・中学校校長会場で、資料館の事業について先生方に紹介しましたが、直接的な効果はみられませんでした。一方で近年、市内の大学では授業の中で八王子の歴史を取り上げる動きがあり、今年度も複数の大学から講師の派遣依頼が来ているので、こうしたニーズも取り込んでPRに努めて参ります。
- 國方委員 PRに関しては館自ら発信していくことが大前提ではありますが、別の手法として、各分野に影響力のある人に発信してもらうという手法も効果は高いです。また最近では口コミによるPRも効果的です。良いものであれば噂になり、人々の期待度も高まっていくと思いますので、そうしたアプローチも行うと良いと思います。
- 中野課長 今年度、新しい取り組みとして、市内の小・中学校の社会科の先生の研修会のプログラムの一つとして資料館を見学していただきました。これをきっかけに先生・学校・生徒・保護者の間で資料館の存在が広まることを期待しております。
- 鎌倉委員 資料館の教育連携について、現在どのようなアプローチの形をとっているのか教えてください。
- 尾崎委員 現状ではこちらから直接アプローチするのではなく、大学側からの依頼が主体となっております。また大学の先生が資料館を見学し、自身の受け持つ授業の中で八王子の歴史について資料館に講義の依頼をするような形もありました。
- 鎌倉委員 小学校へのアプローチはいかがでしょうか。
- 河津主任 小学校では市民向け講座である「出前講座」で取り扱うテーマに沿った形で講師の依頼を頂く場合や、平和に対する授業にて解説員の依頼を受ける場合もあります。
- 鎌倉委員 依頼が多くなると通常の業務にも支障が出てしまうと思いますが、ある程度講師派遣の取り組みを周知していくことも必要だと思います。
- 中野課長 教育連携に関してはまだ課題が残るところではございますが、資料館としても依頼のあった場合はできる限り協力していく方針でございますので今後ともより多くの学校との教育連携に努めて参ります。
- 柿崎会長 情報の発信力の向上が資料館の求心力にもつながっていきますのでこれからもぜひ、努力してください。
- 数馬委員 現在開催中の特別展「八王子百年の彩り」ではドイツのヴ

会議の内容	<p>リーツェン市の市長がこちらに見学された事について、新聞に取り上げられております。このような取り組みは国際交流事業として積極的に事業報告に残すべきだと思います。</p> <p>中野課長　今回は4月から8月までの事業報告となりますので、特別展及び国際交流に関しては次回報告したいと思います。</p> <p>柿崎会長　他に意見がないようでしたら、次の議題に移ります。</p> <p>—議題（3）その他について中村主査より次回開催日程の確認。河津主任より特別展「八王子百年の彩り」について紹介—</p> <p>柿崎会長　このことについて質問等無いようですので、これで平成29年度第2回博物館協議会を終了したいと思います。ありがとうございました。</p>
-------	---